

# こんにちは

5歳児  
ゆり組

## 「ゆり組のみんなでかんがえた ひみつのくにのおはなし」

ある日、保育園の壁にタペストリーが飾られました。それは、不思議な4人の絵です。



「このひとたちのすんでいるくには、どこだとおもいます？」  
という園長先生からの言葉も添えられました。

このひとたちの  
すんでいるくには  
どこだとおもいます  
ともこえんちように、おはな  
してください。

ゆり組さんは、見たことのないこの4人の人に心を奪われました。そして……、「ひみつのくになんじゃない?!」 「!!!」 「そうだ、ひみつのくにだ!!!」と声があがりました。まだ誰も知らない、見たことのない国……。子どもたちの中にはそれがひみつという言葉とぴったりだったようです。その日から、ゆり組さんはひみつのくにの想像を始めました。子どもたちは、自分たちで、イメージをふくらませ、友だちと一緒にひみつのくにに思いを広げていきます。

ひみつのくにには、保育園の下にあり、ひみつの入口から階段で降りていく。入口の扉を開けると、紫色の呪いの煙が出て体が小さくなってしまふから開けてはいけない。ひみつのくにには、宝物がたくさんあって、宝物がしまっているお城がある……。子どもたちのひみつのくにへの思いは、日に日に大きくなっていきました。クッキングで、アップルパイをつくると、「ひみつのくにの人にも食べてほしい」とお皿に入れて棚の上に置き、ひみつのくにの人に手紙を書いたり……。



ひみつのくにのひとたちは、まどがたくさんある、お城のような家に住んでいるんだよ。

そして、一人ひとりが思い思いに自分が考えるひみつのくにを、絵にかき始めました。子どもたちは、保育園の生活と一緒に過ごす仲間としてひみつのくにの人の存在をみんなで想像していきました。



子どもたちはひみつのくにのひとにむけて手紙やプレゼントを作りました。贈り物は日々、増えていきました。

自分で考えたことや思ったことを言葉にして、友だちと一緒に共有し、感じたことを絵や文章にしてあらわし、仲間と一緒に想像の世界を楽しみました。今も、毎日少しずつお話がすすんでいっています。

こんなにも友だちの話を聞いて賛同し自分の考えたことを話して、みんなで想像を膨らませてお話しの世界であそぶことができるゆり組さんは「すてきななあ」と思います。次の話の続きを早くききたいです。



「わが世の春」といった晴れ晴れとした3歳児時代を応援します

園長 長井 啓子

「三歳の魂百まで」幼い頃の性格は年をとっても変わらな  
いといふ説です。生まれて3年間で個性や性格がほぼ決ま  
っていくのだと云う。3歳のお誕生日を迎えたら子どもは  
「わが世の春」といって存在であると思っていられるか  
のようです。親からすれば赤ちゃんを育てるのに「自分  
の」に「育てて」に「主張」の自信は「わが世の春」の  
と思いついていきます。その「わが世の春」といって誇り高  
自我が存在しているのです。「わが世の春」は自分自身  
「わが世の春」に「わが世の春」の未来を信じている姿こそ  
が満3歳の姿であり「わが世の春」といって晴れ晴れとした  
時代であるのは間違いありません。平成31年10月からの3歳児  
の基本的な保育料を無償化する事が決まりました。す  
てのことが幼児教育を受けられるようになるのです。3歳から  
の幼児教育の重要性が理解されたのです。実は3歳未満  
児の養護と教育も更に重要であると理解しています。「みてみ  
て」「みんなんもみて」「成長して」「この時代を大人の愛  
情深い関わりによって過ごすことが重要になります。三つ  
子の魂百までの責任は大きいのです。幼児教育の発展につ  
れた高橋悠三氏は「保護の懇切」を以て幼児教育の成り立  
たない。言い換えれば、保育者の深い愛情。それを以て教育を  
行うことができます。

当園では、2020年4月1日より幼児連携型認定こども園  
に形態を変えて園舎の新築移転の予定をしております。す  
機能をもつ施設に形態を変えて、すすむの子どもが通える施  
設に進化します。幼児連携型認定こども園の職員は、保育士資  
格 幼稚園教諭免許をもち保育士持った保育教諭であり、質の高い幼児  
教育を受けられる施設と認識されています。当園の職員は保育  
教諭と同等の資格を持つ職員により保育が行われています。  
で、形態が変わっても保育が変わることはありません。当園の  
キヤッチフィロソフィのびのび、すすむ、おはなす、わが世  
もたちの健やかな成長を願う保護者、職員の深い愛情を強調し  
た言葉です。子どもたちの豊かな成長をまねて「わが世の春」  
運営を心がけて参ります。

### 編集後記

今年度の卒園児は13名で、平成に西部保育園を卒園した園児は延べ382名になります。  
30年前に卒園した子どもたちが、保護者として子どもと一緒に保育園に通ってくれています。年号が変わり新しい未  
来へ大きな一歩を踏み出して行きたいと思ひます。

# おちちのたんぽぽ組 おちちのうめ組

## 0歳児 さくら組

### すくすく大きくなりました

ねんねの赤ちゃんだった子どもたち。大人の愛情をたっぷり受けて、すくすく大きくなりました。やってみたいことが増え、楽しく過ごしています。

#### 初めての雪あそび



手を伸ばして雪をつかんでみたら・・・「ん？」と。ほいと離してはまたつかんだり。シャベルですくってみたり。初めての雪に興味津々です。

#### 絵本で真似っこ



赤ちゃん組さんは絵本が大好きになりました。冷蔵庫の中の「ぎゅうにゆうせーん」と呼ぶと「はい」と一緒になってお返事したり、だるまさんの真似をして「どて」と転んでみたりして、楽しんでいます。



立ったよ！  
～成長が嬉しい子どもたち

ずいぶんハイハイで移動をおもしろがっていたら、腕の力でよいしょとつかまり立ち。「やったー！立ったよ！」満面の笑みがこぼれます。

## 3歳児 たんぽぽ組

### 幼児組活動に仲間入りした1年間

年少組のみんなは、幼児組になり初めての活動や経験をいっぱい楽しみました。

#### 初めてのりんご狩り



自分で取ったりんごはおつきて重かった。両手でグルグル回してりんごをもぎました。

#### 初めてのプールあそび



青空の下でお弁当が入ったリュックを背負って散歩に行つた。たくさん遊んで大満足

大きなプールに初めて入りました。思いっきり水の中であそびました。



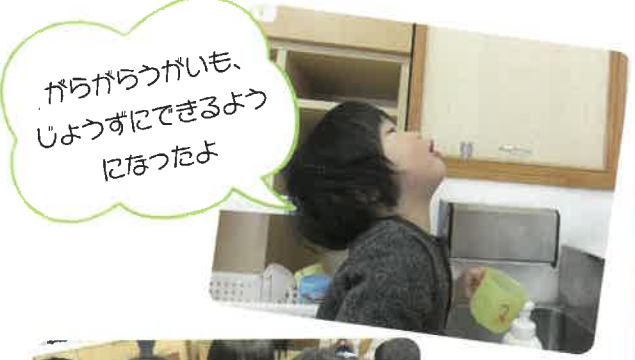
## 1歳児 うめ組 2歳児 もも組

### おおきくなるって嬉しいな

もも組さんは登園の身支度や、手洗い・うがい、衣服の着脱、トイレでの排泄、食事・おやつへの配膳や下膳など・・・自分でできるようになりました。その様子をつめ組さんは一緒に生活するなかで「見て、まねて、しようとする」姿があります。保育者に見守られながら1、2歳児混合クラスで友だちとふれあいかかわり、うめ組・もも組の子どもたちは多くのことを学ぶことで、豊かな成長につながっていることを実感しています。



「ばたん、ばたん」  
きんちゃくもたたんで  
リュックにしまします。



がらがらうがいも、  
じょうずにできるよう  
にほったよ



せっけんをつけて  
ゆびのあいだも  
きれいにあらいます



いろん  
なおもちゃいっぱい！

## 4歳児 すみれ組

### 友だち大好き

すみれ組さんは、友だちとルールを共有し合い、ルールを守ることを楽しめるということを理解しました。「だるまさんがころんだ」や「はないちもんめ」などの集団遊びが大好きです。なかでも「はないちもんめ」が人気です。



「かーつて、うれしい花いちもんめ」元気いっぱいの歌声が聞こえてきます。



積み木で「ふたりのだけのおうちをつくったよ」  
「ここはねるへやー」



みんなで協力して、折り紙で景品をつくり、くじひきを楽しんでいます。  
「何番かなあーどきどきするー」

### 親子クッキング

秋の保育参加では、旬の美味しい食材を使って、幼児組を中心に親子クッキングをしました。乳児組さんは親子でお金や財布を作り、幼児組さんが作ったお団子や揚げ餃子を買に行きました。赤ちゃん組さんは離乳食を親子でいただき、味や形態を確認しました。美味しいにおいをかぎながら豚汁が出来上がるのを待ち年長組が作った豚汁、年中組が作った揚げ餃子、年少組が作ったお月見団子を保護者の方と一緒にいただきました。



作ったものをみんなで食べるとおいしい！！

乳児組さん  
お金や財布を作り、お団子などを  
買い物に行きます。